

2023年3月期 | 第109期
第2四半期 **決算説明会**



2022年11月17日
フタバ産業株式会社



FUTABA



1. 2023年3月期 第2四半期 決算概況

2. 2023年3月期 通期業績見通し

3. 中期経営計画達成に向けた取り組み

決算要約

2

単位：百万円

	2023年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	増減	増減率	2023年3月期 2Q予想	増減
売上高	326,457	263,631	+62,825	+23.8%	330,000	▲3,542
営業利益	▲289 (▲0.1%)	1,297 (0.5%)	▲1,587	－	▲1,000 (▲0.3%)	+710
経常利益	▲208 (▲0.1%)	1,672 (0.6%)	▲1,880	－	▲600 (▲0.2%)	+391
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲1,102 (▲0.3%)	▲1,359 (▲0.5%)	+257	－	▲1,100 (▲0.3%)	▲2

※（ ）内は売上高比率を表示

※通期営業利益70億円ベース

為替レート (1ドル)	134.0 円	109.8 円	24.2円の円安	
----------------	---------	---------	----------	--

決算要約 支給品除く

3

単位：百万円

	2023年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	増減	増減率	2023年3月期 2Q予想	増減
売上高 [支給品除く]	177,643	151,535	+26,108	+17.2%	172,000	+5,643
営業利益	▲289 (▲0.2%)	1,297 (0.9%)	▲1,587	—	▲1,000 (▲0.6%)	+710
経常利益	▲208 (▲0.1%)	1,672 (1.1%)	▲1,880	—	▲600 (▲0.3%)	+391
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲1,102 (▲0.6%)	▲1,359 (▲0.9%)	+257	—	▲1,100 (▲0.6%)	▲2

※（）内は売上高比率を表示

※通期営業利益70億円ベース

為替レート (1ドル)	134.0 円	109.8 円	24.2円の円安	
----------------	---------	---------	----------	--

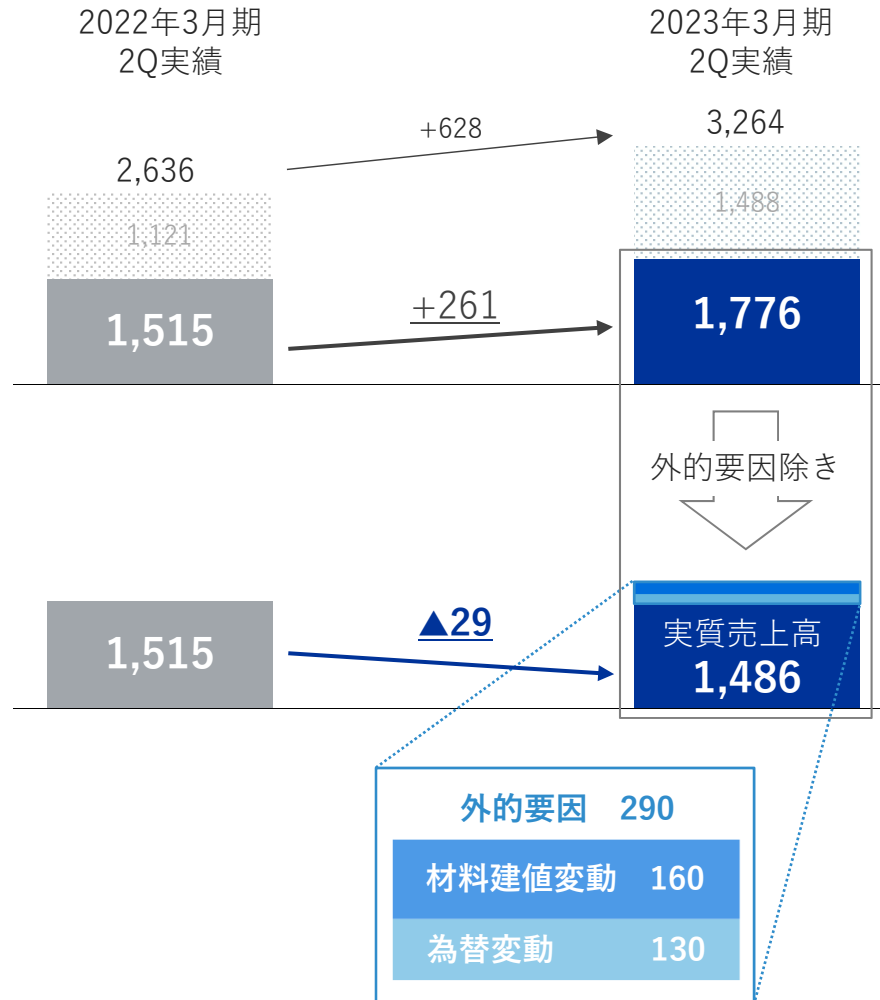
決算要約 売上高の分解：支給品/材料建値/為替変動影響

4

◆ 売上高

■ 売上高[支給品除く] 単位：億円

▨ 支給品金額



- ・ 売上高は支給品込みで +628億円の増収
- ・ 支給品除く売上高は、+261億円の増収
- ・ 材料建値変動、為替変動影響を除くと
実質売上高は、▲29億円 <▲1.9%>の減収

- ・ 支給品とは
得意先から有償支給される触媒等の部品
支給品を含む製品の売価には、支給品額が含まれており、利益影響はない
- ・ 材料建値変動とは
市況の変動により、材料の仕入れ単価と
売価の内材料費分が同額変動すること。
売上と原価が同額変動するので、利益影響はない
- ・ 為替変動影響とは
海外子会社の財務数値を円換算する際、
前期と当期の為替レートの差分 売上等が変動すること

セグメント別売上高と営業利益 支給品/材料建値/為替変動影響除く 5

単位：百万円

		2023年3月期 2Q実績 [支給品除く]	2022年3月期 2Q実績 [支給品除く]	増減	増減率	2023年3月期 2Q実績 [実質売上高*]	増減	増減率
日 本	売上高 [支給品除く]	85,995	79,658	+6,336	+8.0%	74,795	▲4,863	▲6.1%
	営業利益	152 (0.2%)	▲1,149 (▲1.4%)	+1,301	—			
北 米	売上高 [支給品除く]	39,898	29,250	+10,647	+36.4%	32,198	+2,947	+10.1%
	営業利益	▲2,265 (▲5.7%)	▲110 (▲0.4%)	▲2,155	—			
欧 州	売上高 [支給品除く]	15,355	9,672	+5,682	+58.8%	12,455	+2,782	+28.8%
	営業利益	565 (3.7%)	65 (0.7%)	+499	+760.8%			
中 国	売上高 [支給品除く]	34,027	32,138	+1,889	+5.9%	28,027	▲4,111	▲12.8%
	営業利益	784 (2.3%)	1,812 (5.6%)	▲1,028	▲56.8%			
アジア	売上高 [支給品除く]	8,210	6,863	+1,346	+19.6%	7,010	+147	+2.1%
	営業利益	419 (5.1%)	493 (7.2%)	▲74	▲15.0%			
連結調整	売上高	▲5,843	▲6,048	+205		▲5,843	+205	
	営業利益	54	185	▲130				
合 計	売上高 [支給品除く]	177,643	151,535	+26,108	+17.2%	148,643	▲2,892	▲1.9%
	営業利益	▲289 (▲0.2%)	1,297 (0.9%)	▲1,587	—			

※（ ）内は売上高比率を表示

* 支給品/材料建値/為替変動影響除く

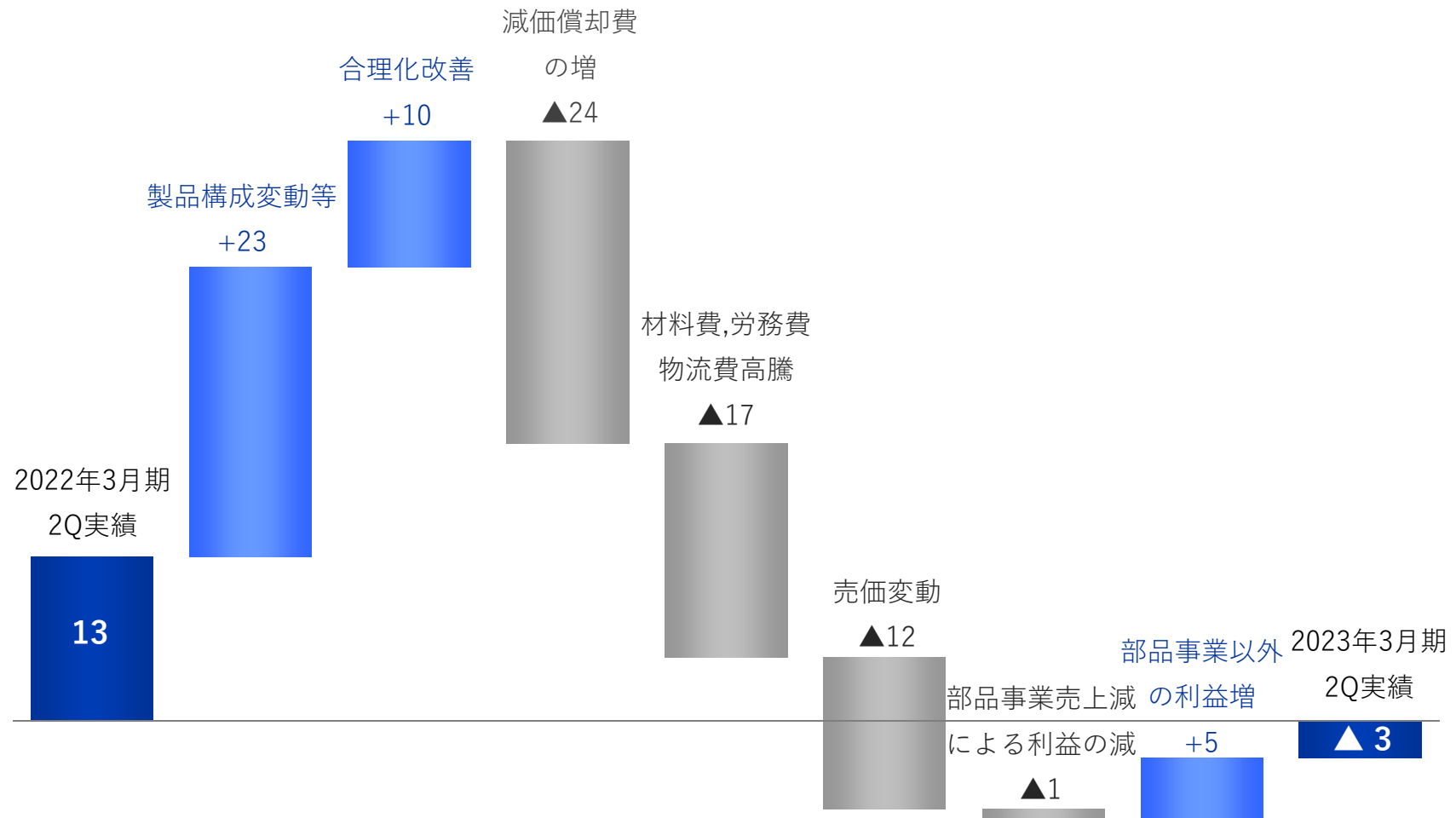
営業利益の増減分析

6

営業利益の増減 **▲16億円** (13億円 → ▲3億円)

単位：億円

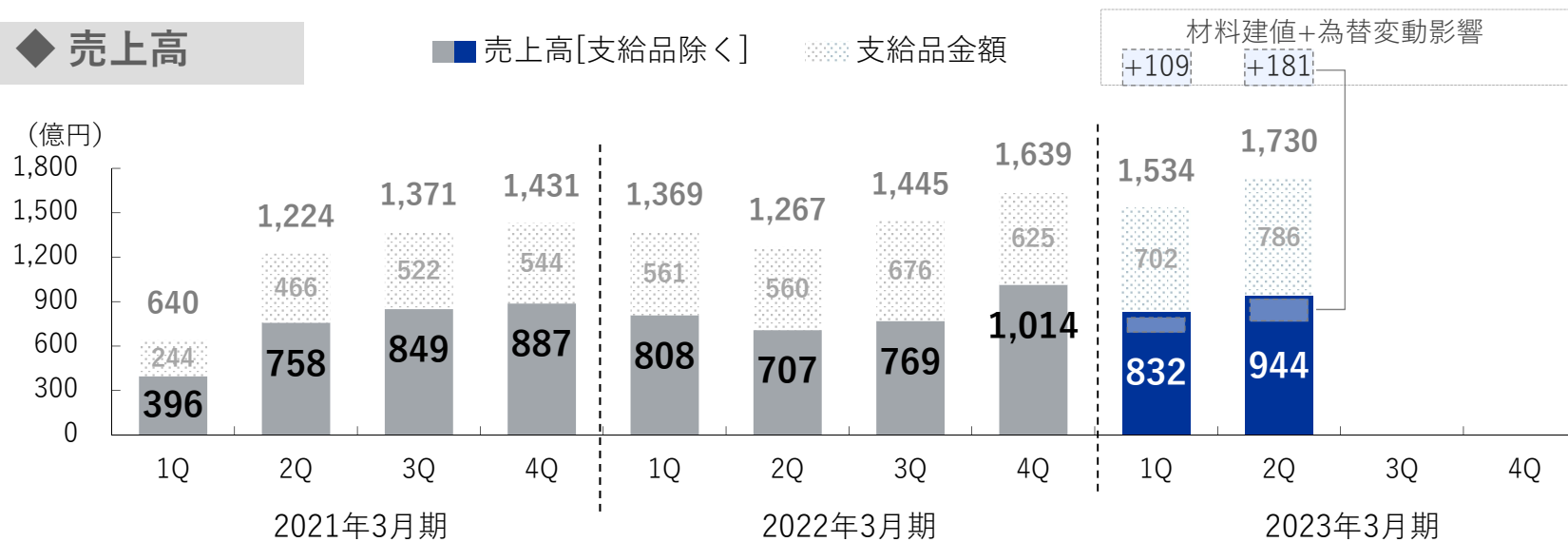
■ 増益要因
■ 減益要因



売上高と営業利益の四半期推移

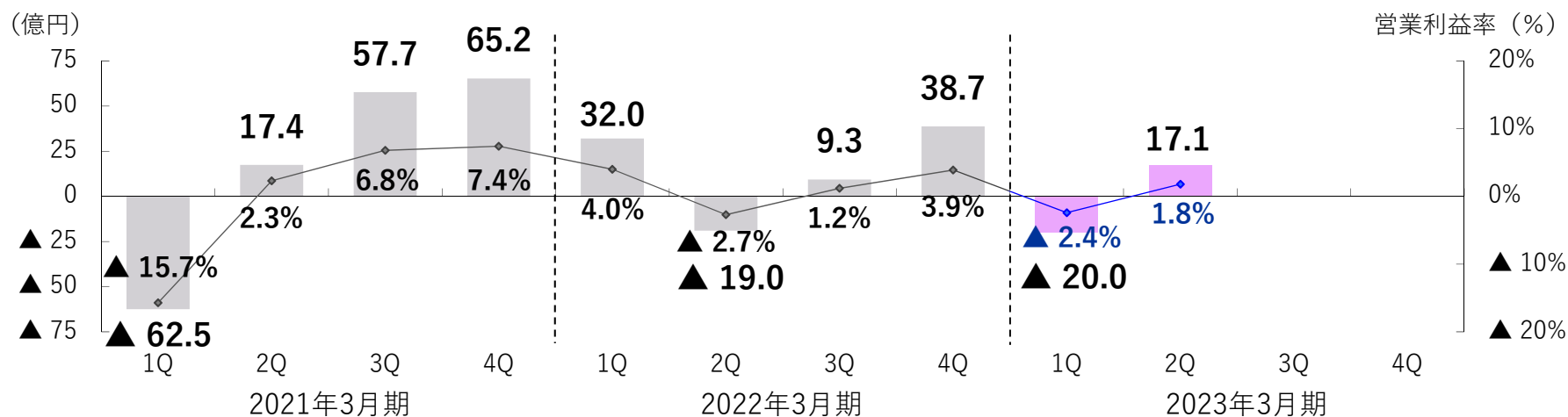
7

◆ 売上高



◆ 営業利益

※営業利益率 (対売上高[支給品除く])



得意先別売上高

8

() 内は売上高比率 単位：億円

	2023年3月期 2Q実績		2022年3月期 2Q実績		増減	増減率
※1 トヨタグループ	2,464	(75.5%)	1,805	(68.5%)	+658	+36.5%
スズキ	367	(11.2%)	384	(14.6%)	▲17	▲4.6%
三菱自動車	121	(3.7%)	127	(4.8%)	▲5	▲4.6%
本田技研	53	(1.6%)	54	(2.1%)	▲1	▲2.0%
三菱ふそう	41	(1.3%)	32	(1.2%)	+9	+27.8%
※2 日産グループ	32	(1.0%)	28	(1.1%)	+4	+15.6%
富士フイルムBI	6	(0.2%)	18	(0.7%)	▲12	▲66.9%
その他	177	(5.5%)	183	(7.0%)	▲6	▲3.6%
合計	3,264	(100.0%)	2,636	(100.0%)	+628	+23.8%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、日野自動車等を含む

※2 日産グループには、日産車体を含む

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概況

2. 2023年3月期 通期業績見通し

3. 中期経営計画達成に向けた取り組み

通期業績予想

10

売上高、営業利益、経常利益は、7/28公表の通期業績予想を据え置き
当期純利益のみ、協祥株の一部売却による特別利益を見込み、前回予想を上方修正

単位：億円

	2023年3月期 今回予想			7/28 前回予想	増減	増減率	2022年3月期 通期実績	増減
	上半期	下半期	通期					
売上高	3,264 (100.0%)	3,735 (100.0%)	7,000 (100.0%)	7,000 (100.0%)	+0	+0.0%	5,721 (100.0%)	+1,279
営業利益	▲2 (▲0.1%)	72 (2.0%)	70 (1.0%)	70 (1.0%)	+0	+0.0%	61 (1.1%)	+9
経常利益	▲2 (▲0.1%)	76 (2.0%)	74 (1.1%)	74 (1.1%)	+0	+0.0%	78 (1.4%)	▲4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲11 (▲0.3%)	71 (1.9%)	60 (0.9%)	44 (0.6%)	+16	+36.4%	33 (0.6%)	+27
※（ ）内は売上高比率を表示								
為替レート (1ドル)	135.0円			130.0円	112.4円 22.6円円安			

通期業績予想 支給品除く

11

売上高、営業利益、経常利益は、7/28公表の通期業績予想を据え置き
当期純利益のみ、協祥株の一部売却による特別利益を見込み、前回予想を上方修正

単位：億円

	2023年3月期 今回予想			7/28 前回予想	増減	増減率	2022年3月期 通期実績	増減
	上半期	下半期	通期					
売上高 [支給品除く]	1,776 (100.0%)	1,924 (100.0%)	3,700 (100.0%)	3,700 (100.0%)	+0	+0.0%	3,298 (100.0%)	+402
営業利益	▲2 (▲0.2%)	72 (3.7%)	70 (1.9%)	70 (1.9%)	+0	+0.0%	61 (1.8%)	+9
経常利益	▲2 (▲0.1%)	76 (3.9%)	74 (2.0%)	74 (2.0%)	+0	+0.0%	78 (2.3%)	▲4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲11 (▲0.6%)	71 (3.7%)	60 (1.6%)	44 (1.2%)	+16	+36.4%	33 (1.0%)	+27

※（）内は売上高比率を表示

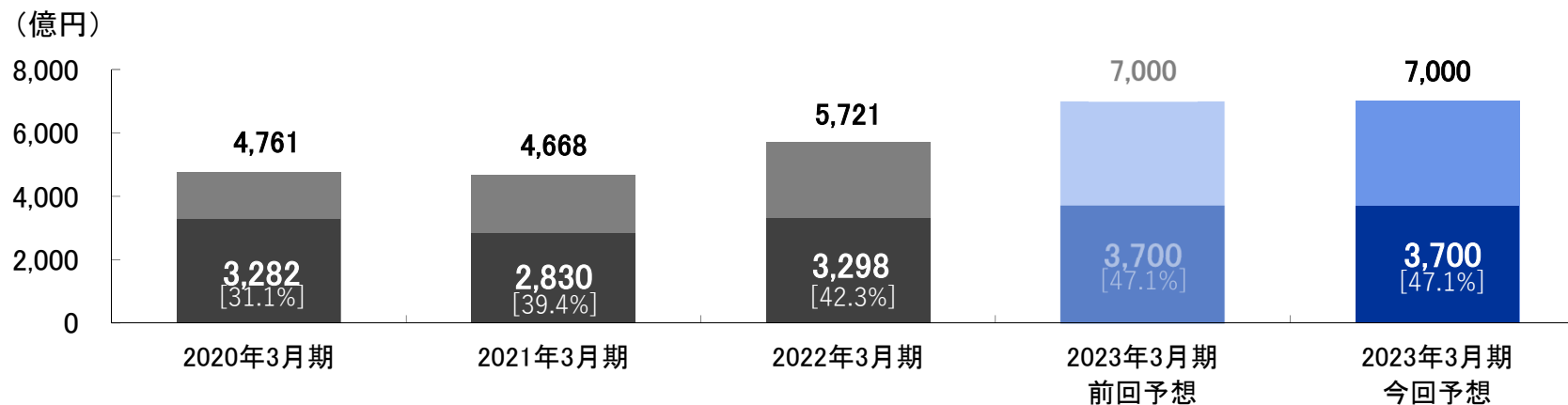
為替レート (1ドル)	135.0円	130.0円	112.4円	22.6円円安
----------------	--------	--------	--------	---------

売上高(支給品影響)と営業利益の推移

12

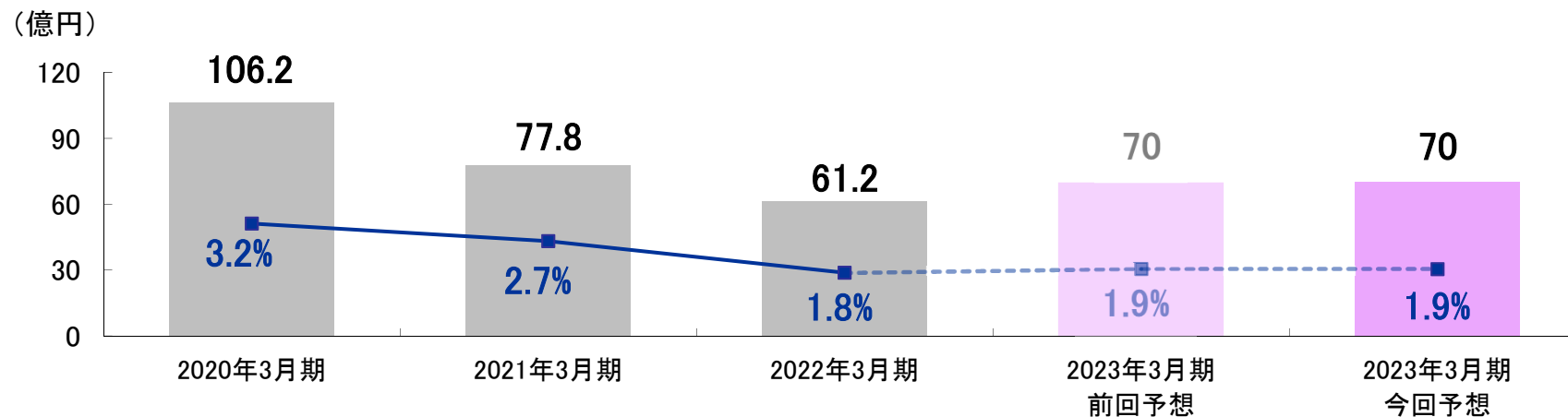
売上高

■ 売上高[支給品除く] ■ 支給品金額 [] 支給品比率



営業利益

■ 売上高[支給品除く]に対する営業利益率



売上高(支給品影響)と営業利益の推移

13

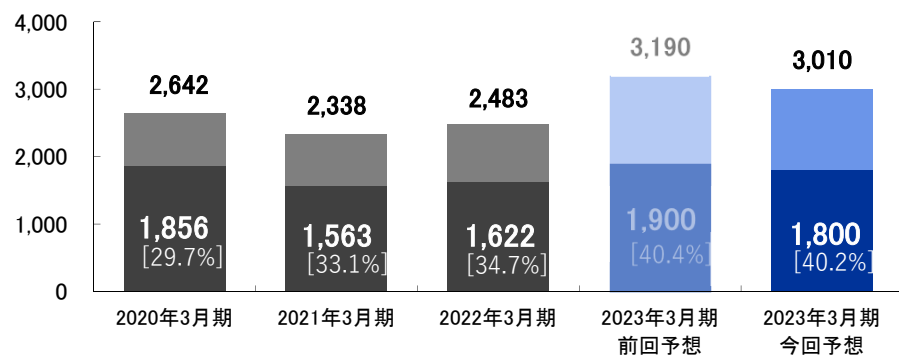
日 本

北 米

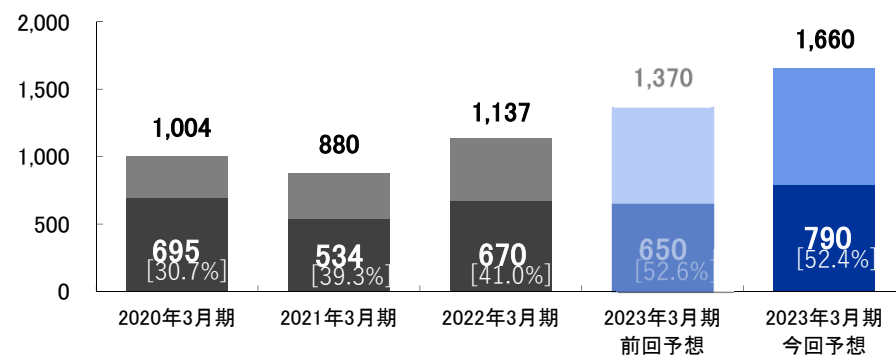
売上高

■ 売上高[支給品除く] ■ 支給品金額 [] 支給品比率

(億円)



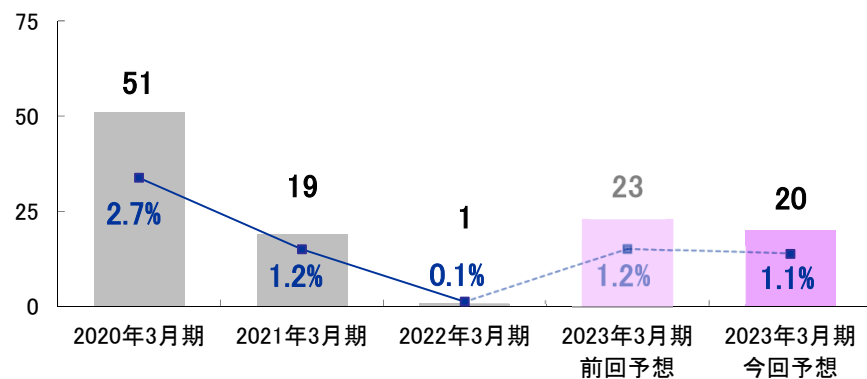
(億円)



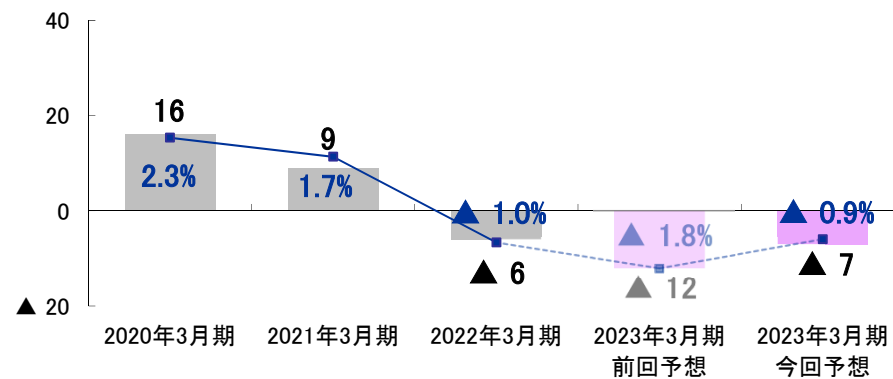
営業利益

■ 売上高[支給品除く]に対する営業利益率

(億円)



(億円)



売上高(支給品影響)と営業利益の推移

14

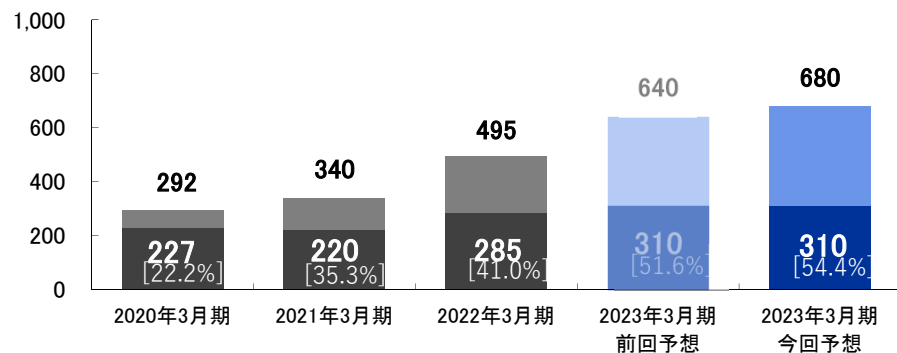
欧 州

中 国

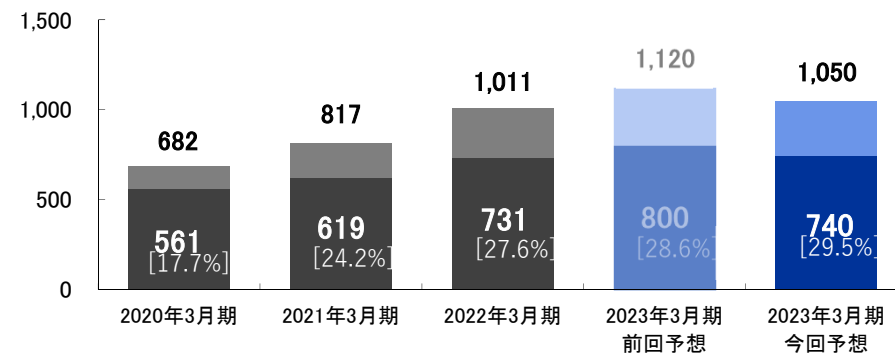
売上高

■ 売上高[支給品除く] ■ 支給品金額 [] 支給品比率

(億円)



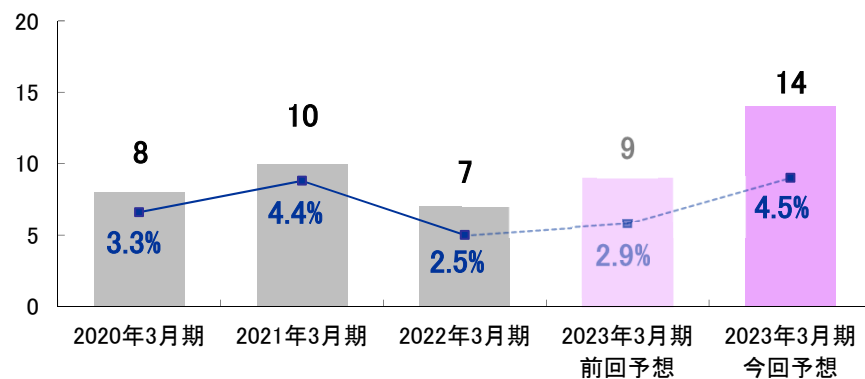
(億円)



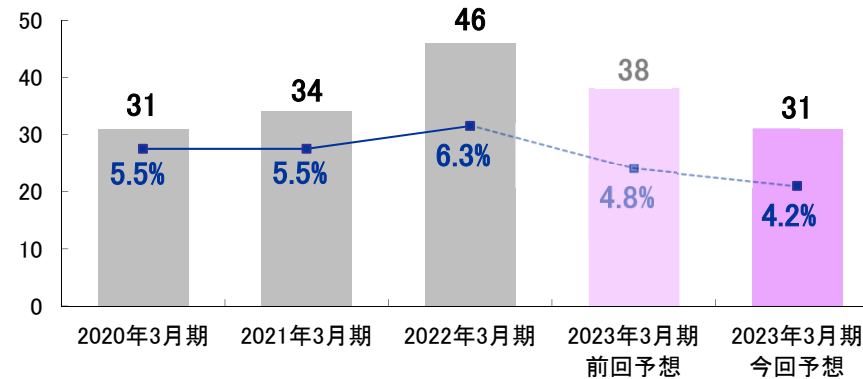
営業利益

■ 売上高[支給品除く]に対する営業利益率

(億円)



(億円)



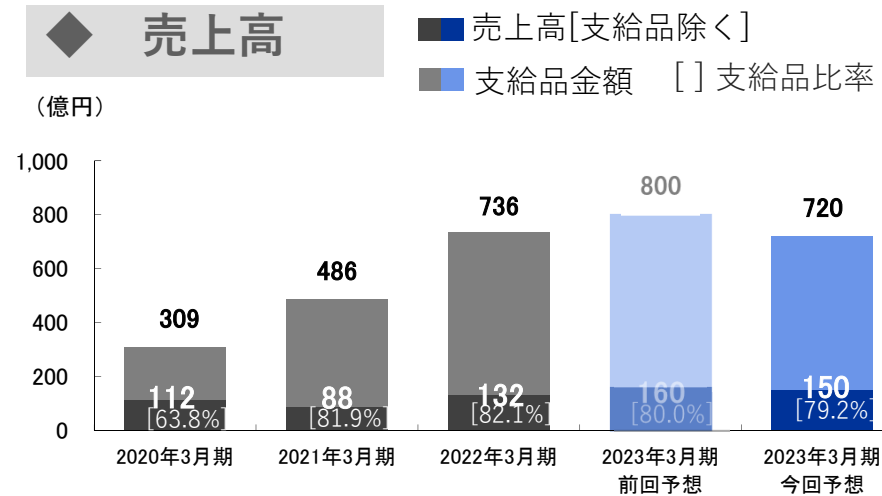
売上高(支給品影響)と営業利益の推移

15

アジア

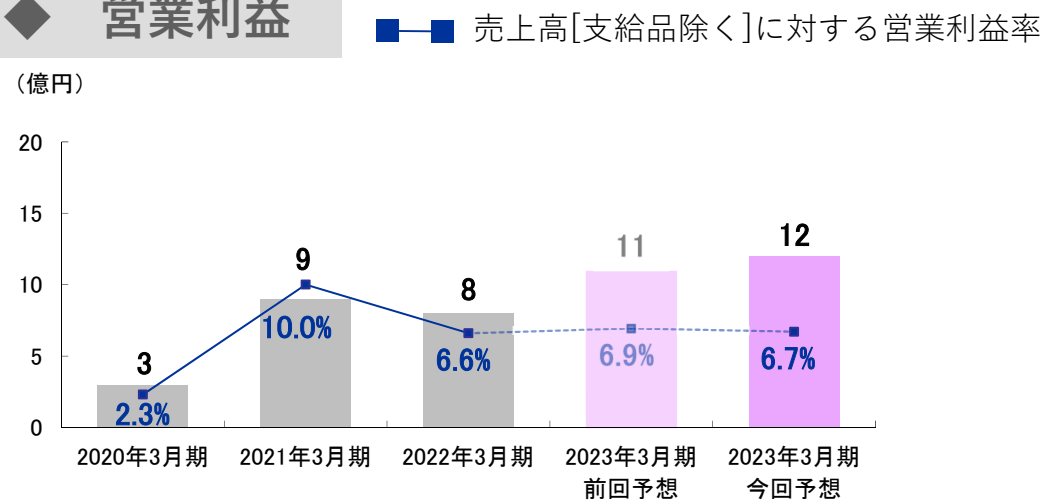
売上高

(億円)



営業利益

(億円)

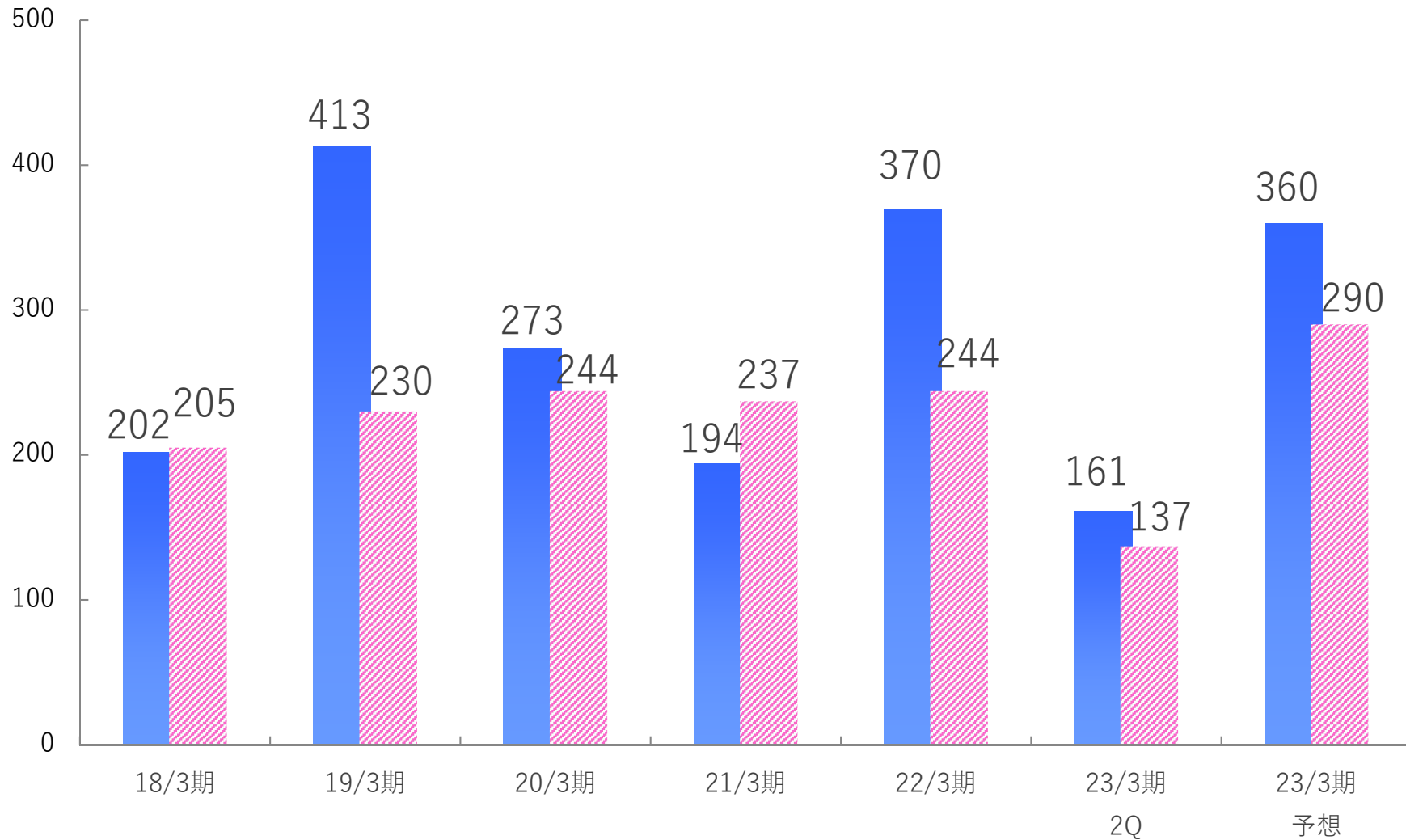


【参考資料】設備投資額(完成ベース)と減価償却費の推移

16

単位：億円

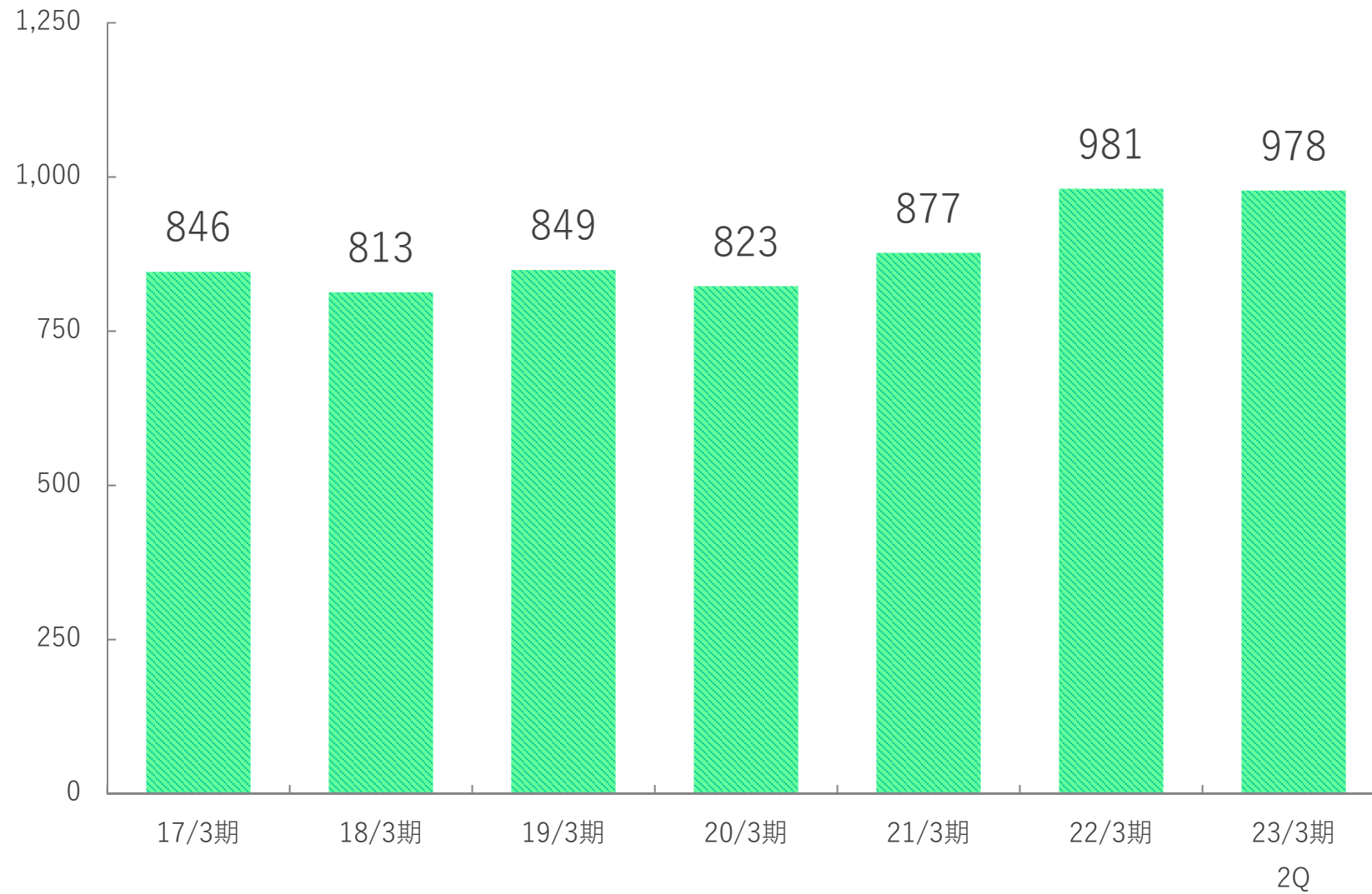
■ 設備投資額 ▨ 減価償却費



【参考資料】有利子負債残高の推移

17

単位：億円



1. 2023年3月期 第2四半期 決算概況

2. 2023年3月期 通期業績見通し

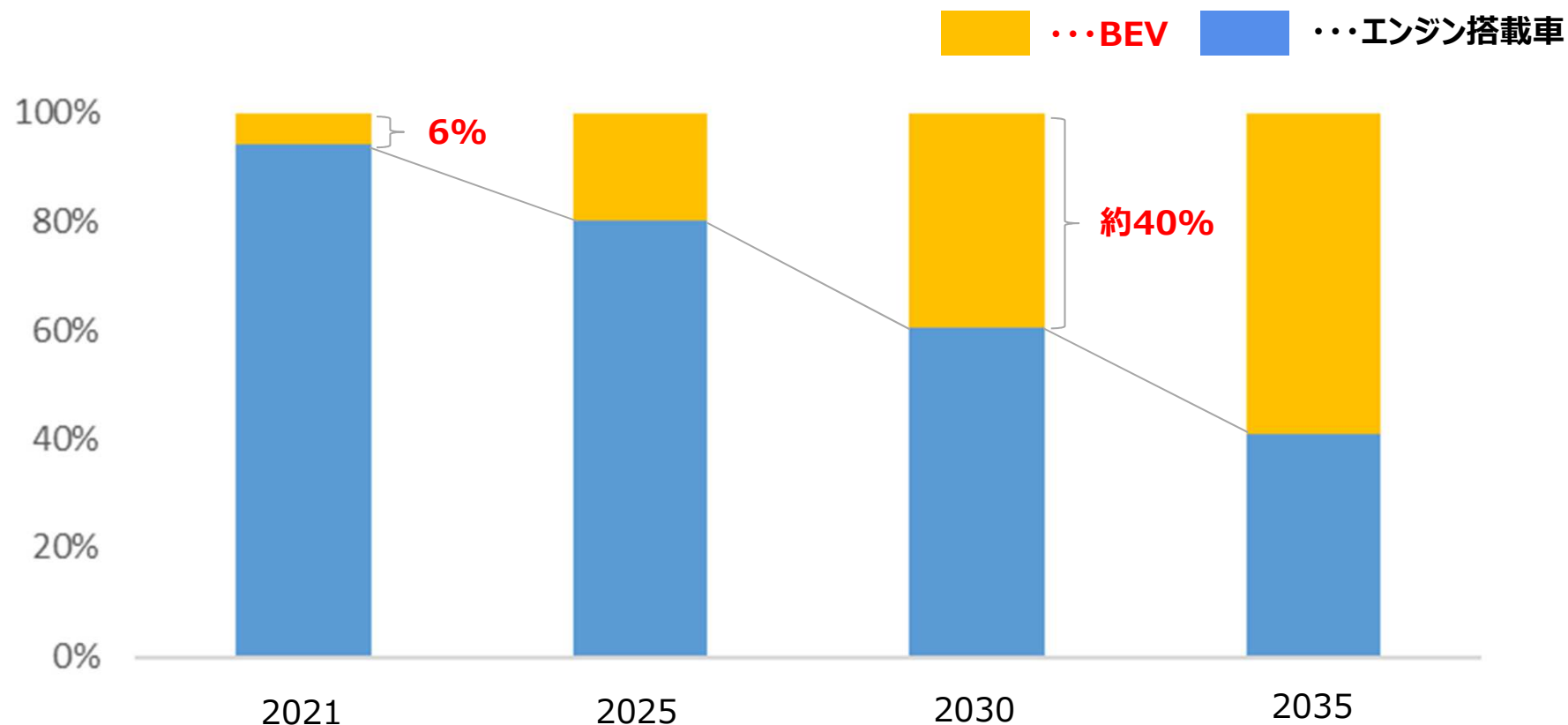
3. 中期経営計画達成に向けた取り組み

＜世界新車販売台数予測＞

出所: ボストン コンサルティング グループ分析

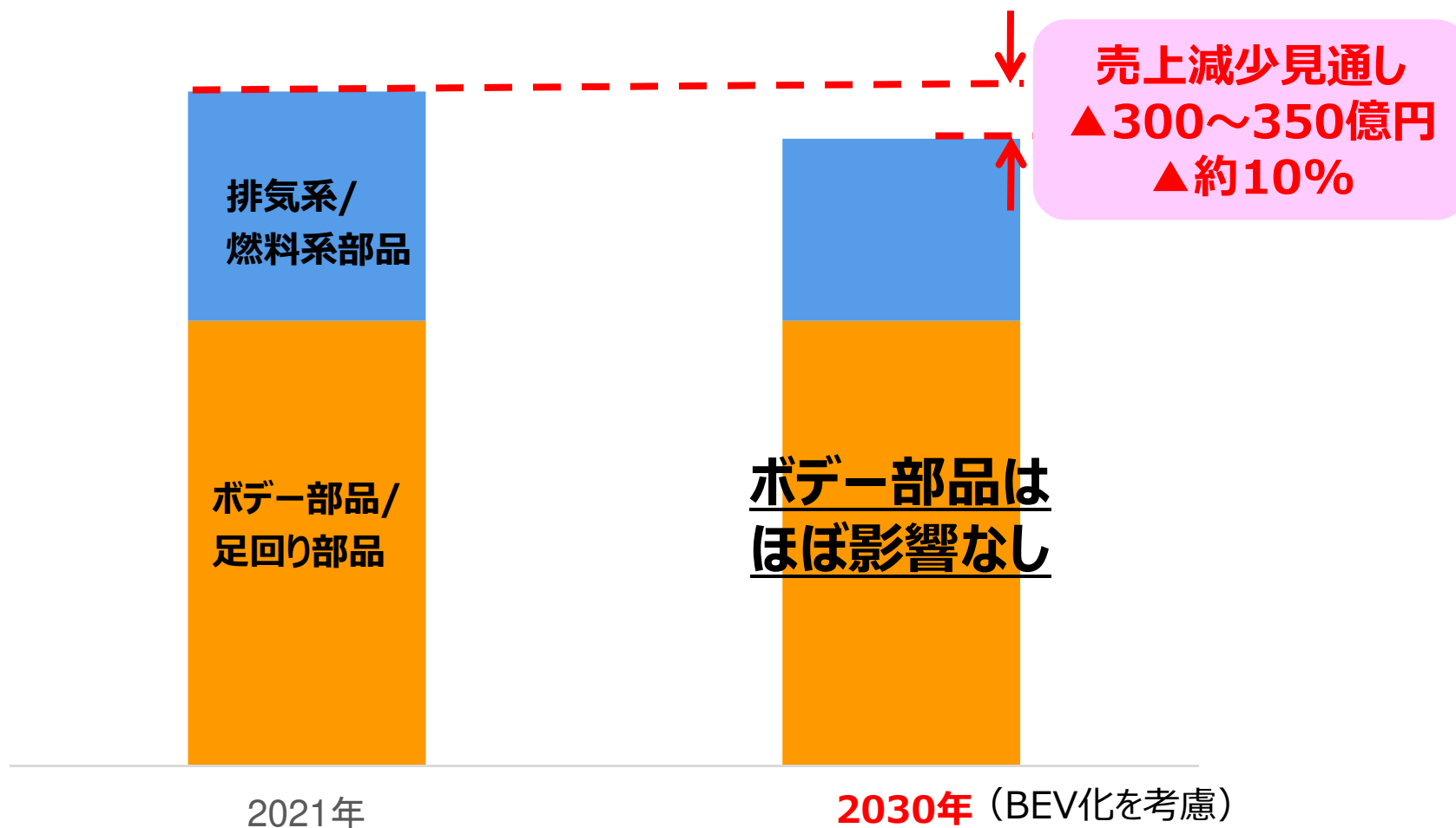
「Electric Cars Are Finding Their Next Gear (2022年6月9日)」

よりフタバ産業が作成



エンジン搭載車が減少しBEVが急速に拡大

フタバ連結の売上影響予測 (自動車関連部品・支給品除く)



BEV化に対する成長戦略

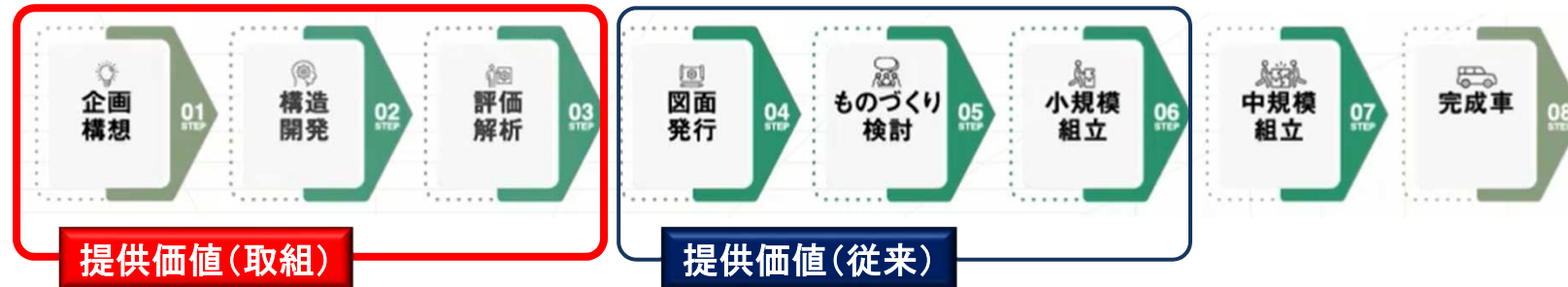
a : ボデー部品・外販設備事業の拡大、付加価値増

b : 成熟市場（エンジン搭載車）でのシェア向上

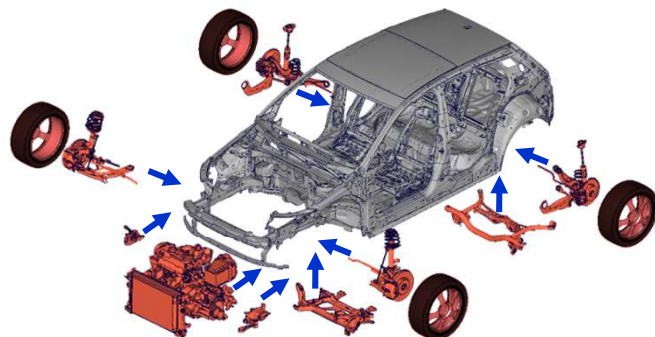
c : 新規事業の取り組み

a : ボデー部品・外販設備事業の拡大、付加価値増

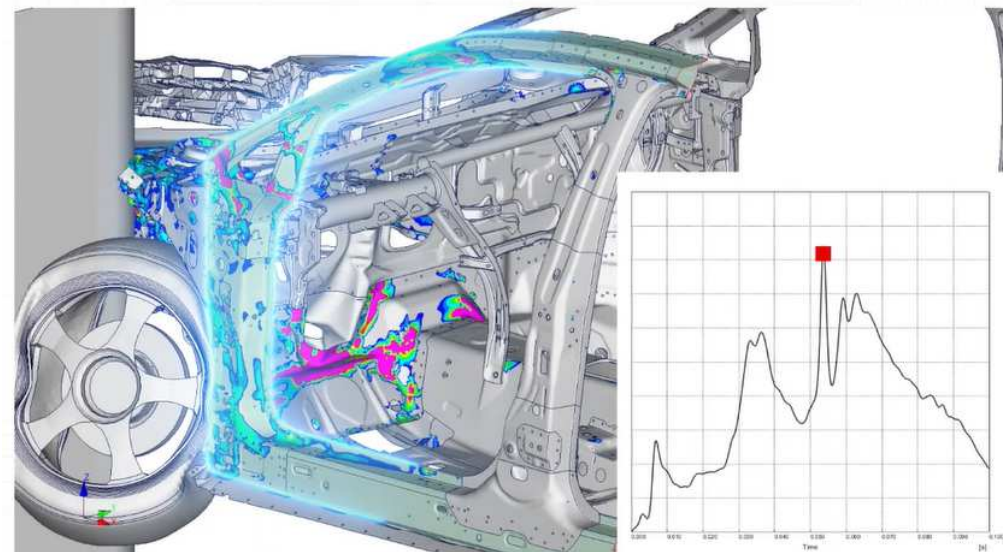
・ボデー開発(開発取組、設備戦略)



エリア開発 モノづくりと性能を両立した早期構造提案
～ お客様と共に早期形状づくり込み～

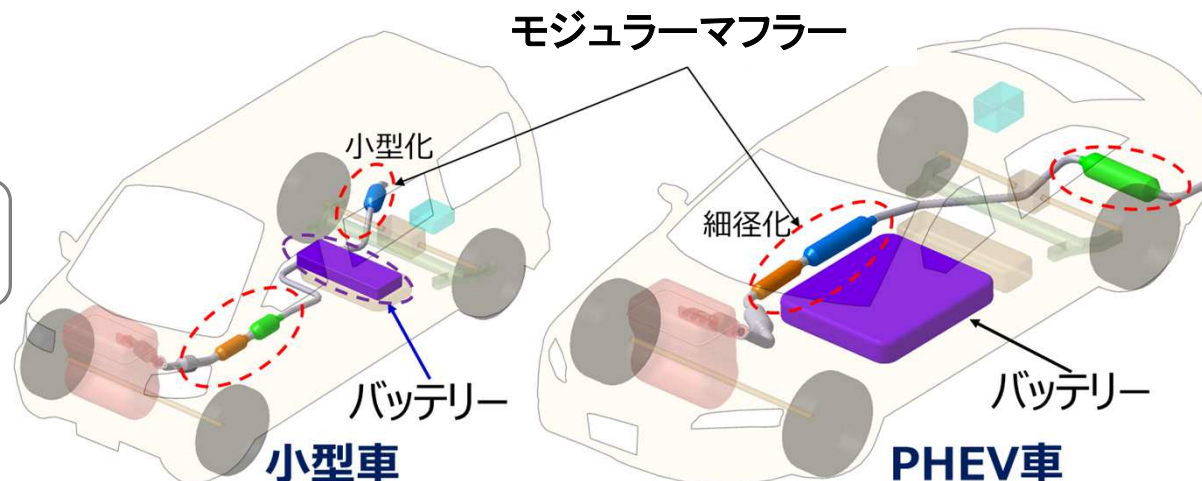


ボデーシェルにユニット部品を組付け
衝突解析を実施

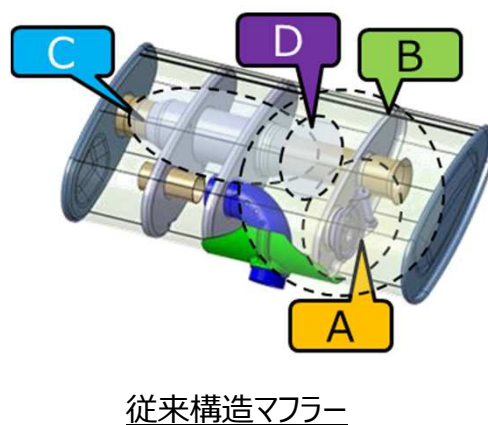


b : 成熟市場（エンジン搭載車）でのシェア向上

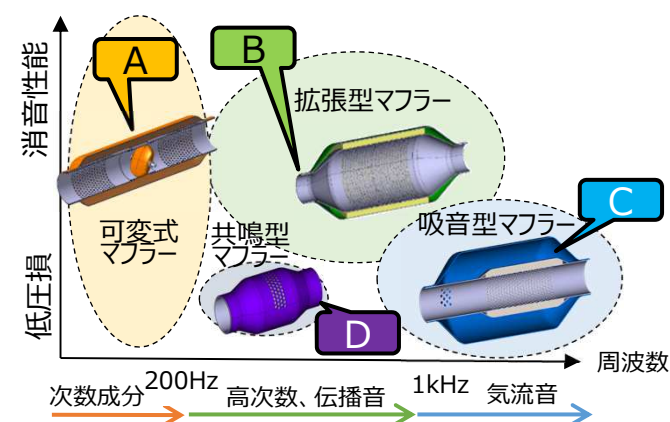
バッテリーの大型化や
床下の省スペース化に対応



主に4種類のマフラー構造の
組合せで性能を達成させる



<モジュラーマフラーの消音特性>



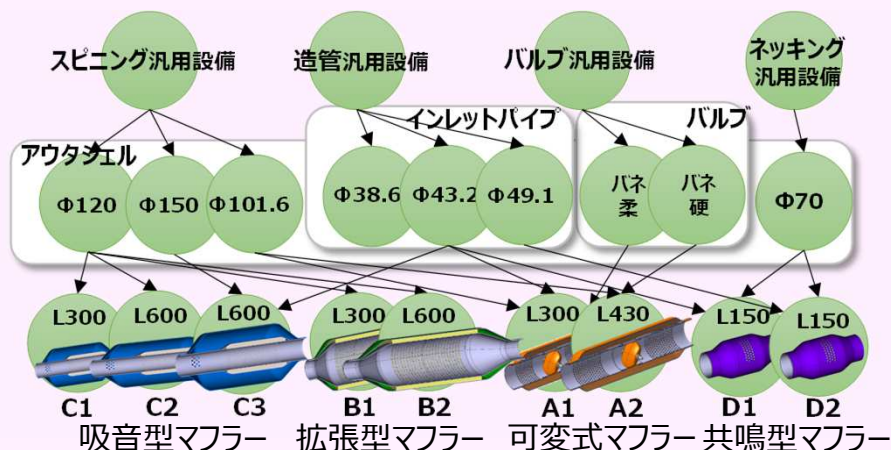
b：成熟市場（エンジン搭載車）でのシェア向上

モノづくりを含めた最適形状を検討し、
小型・標準化マフラーの拡大

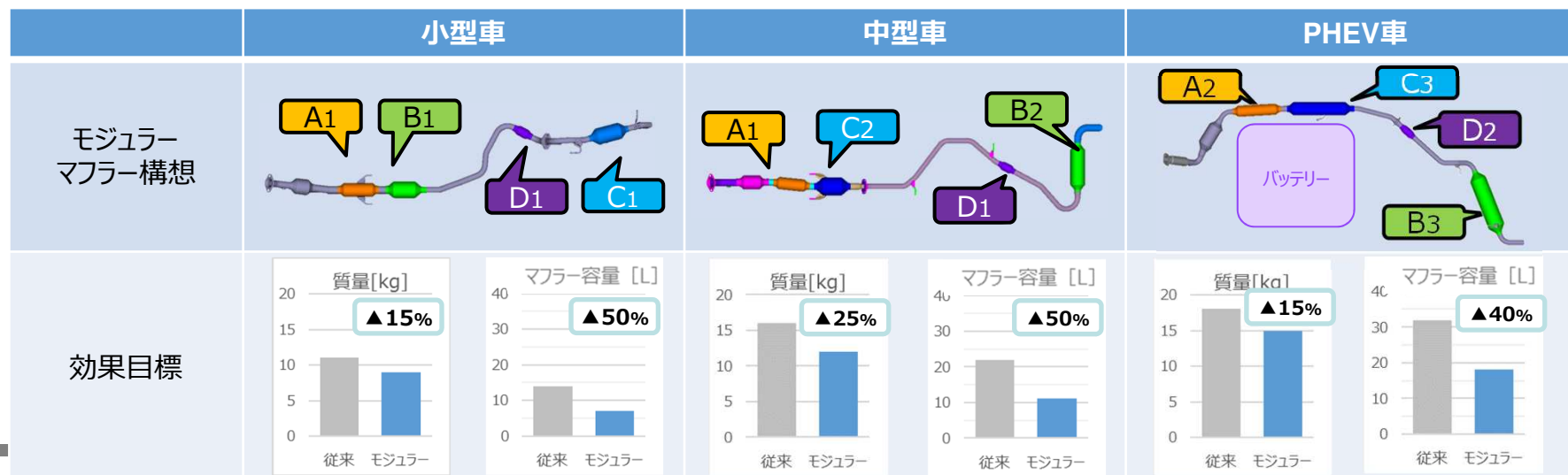
製造設備

モジュール
部品

製品
(マフラー)



モジュールマフラー構想・効果目標



C : 新規事業への取り組み

agleaf® の進化

農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置
「agleaf®」の進化



CO₂回収&利用事業

オンボードCO₂回収事業開発の推進
エンジン搭載車のCO₂排出をゼロとすることで、
物流分野のカーボンニュートラル達成に貢献する

将来課題解決事業

エネルギー循環システム事業開発の推進
再生可能エネルギー（太陽光や産業廃棄物）を
制御することでエネルギーの自産自消を実現する

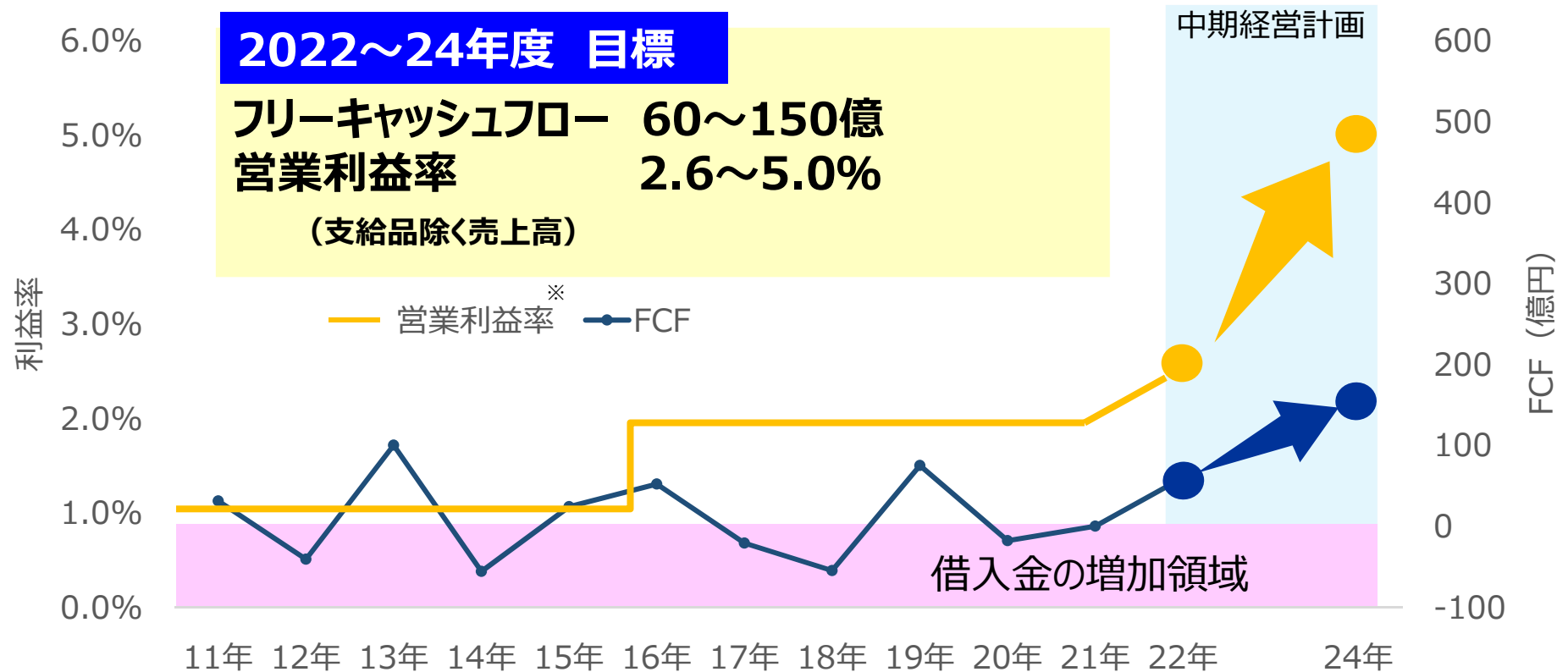
稼ぐ力を強化し、フリーキャッシュフロー（FCF）の増加を図る

<使途>

株主還元

有利子負債返済

成長投資



※ 21年度までは支給品込み

競争力強化により損益分岐点を改善し、変化に強い企業にする

企業 基盤	1.安全・品質	重大災害/火災と重要品質問題を絶対に起こさない企業文化と仕組みづくり
	2.人材育成	グローバル人材育成といきいきとした職場づくり
	3.DX	会社の変革を実現するためのアーキテクチャー再構築
成長 戦略	4.環境への貢献	脱炭素社会・カーボンニュートラルを目指したCO ₂ 排出量削減 省エネ活動のグローバル展開
	競争力強化	
	5.利益向上	ベストプラクティス活動を基軸とした競争力向上 新規生準投資最適化（金型・設備投資）
	6.投資	キャッシュフローベースの投資管理
	7.持続的成長	将来の成長に向けた戦略の確実な実行と変化に即応する企画推進
	8.付加価値向上	持続的成長に向けた将来の社会課題を解決する新規事業の創出

「ベストプラクティス活動を基軸とした競争力向上」

方策：業界ベストを出来高、品質で追及し素早くグローバルへ展開

a. プレスの生産性向上

モデル工場：岡崎工場、対象ライン（全社）：トランスファー10、ロボット1
【改善アイテム】

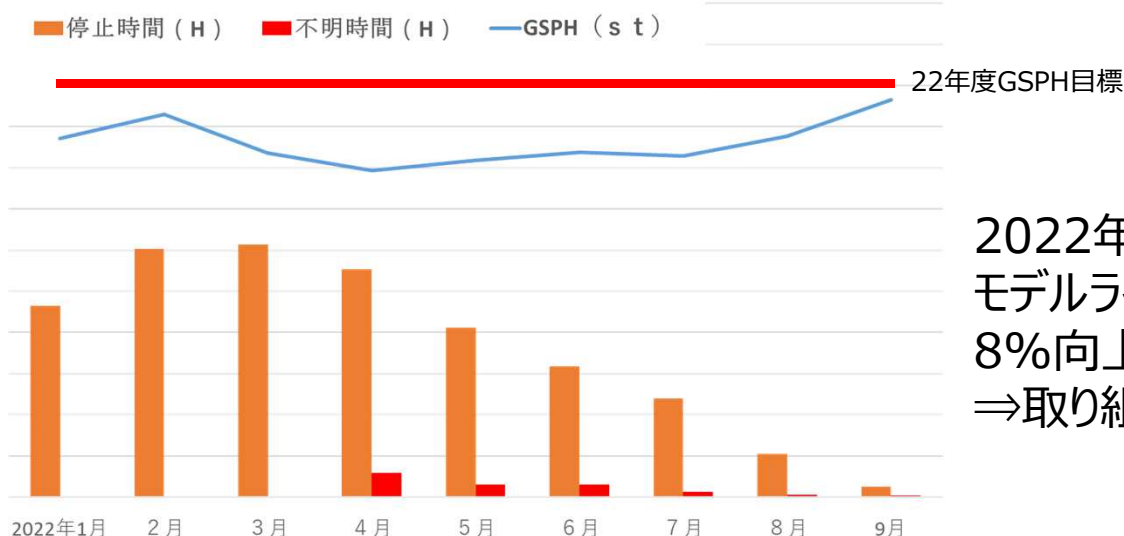
- ・段取り時間短縮、GSPH※向上、省人化（総人員/台）

※段取時間や停止時間を含めた1時間当たりのストローク数



22年度目標 生産性10%向上

＜岡崎工場モデルライン＞



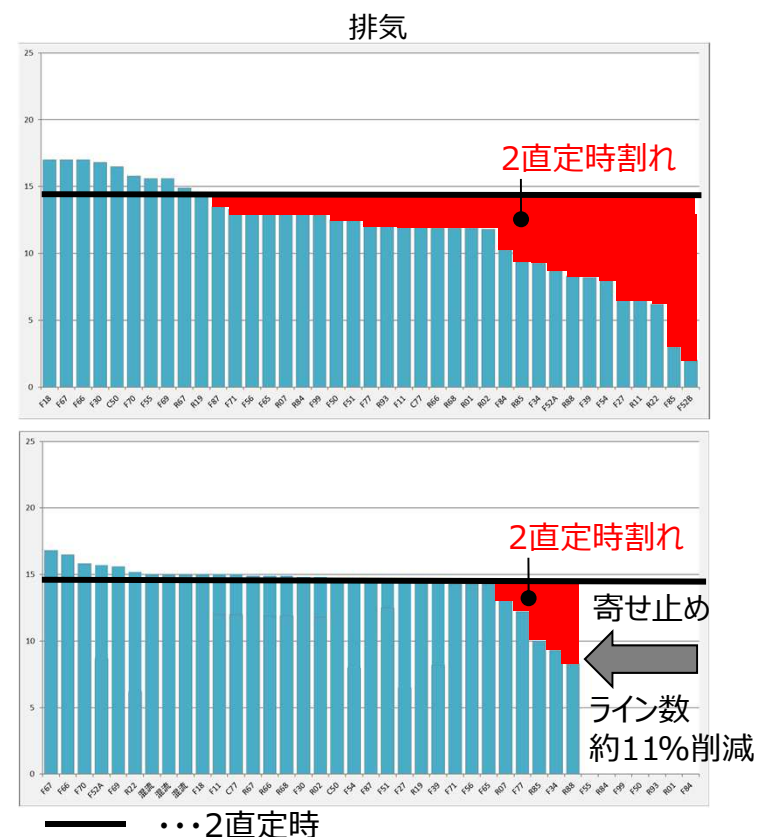
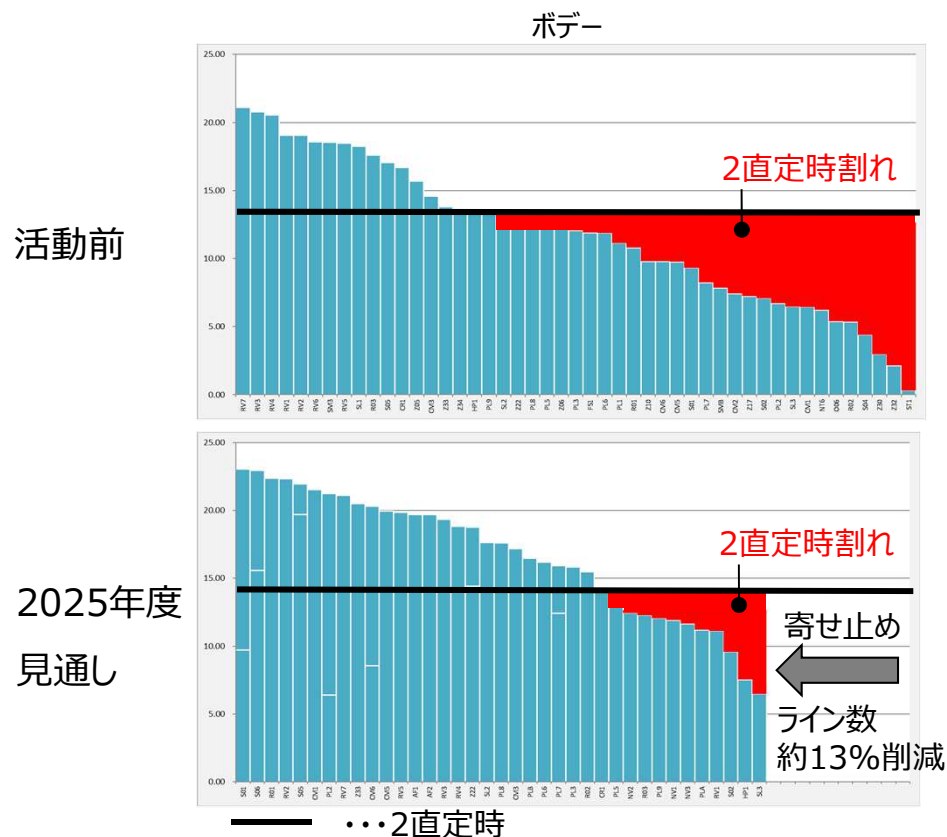
2022年1月から活動実施
モデルラインの生産性は9月時点で
8%向上し、ライン停止時間も着実に減少
⇒取り組みを他工場へ横展開中

b. ライン集約

25年度目標

稼働率90%以上 モデル工場：六ツ美/幸田工場

対象ライン：ボデー 47ライン、排気 36ライン

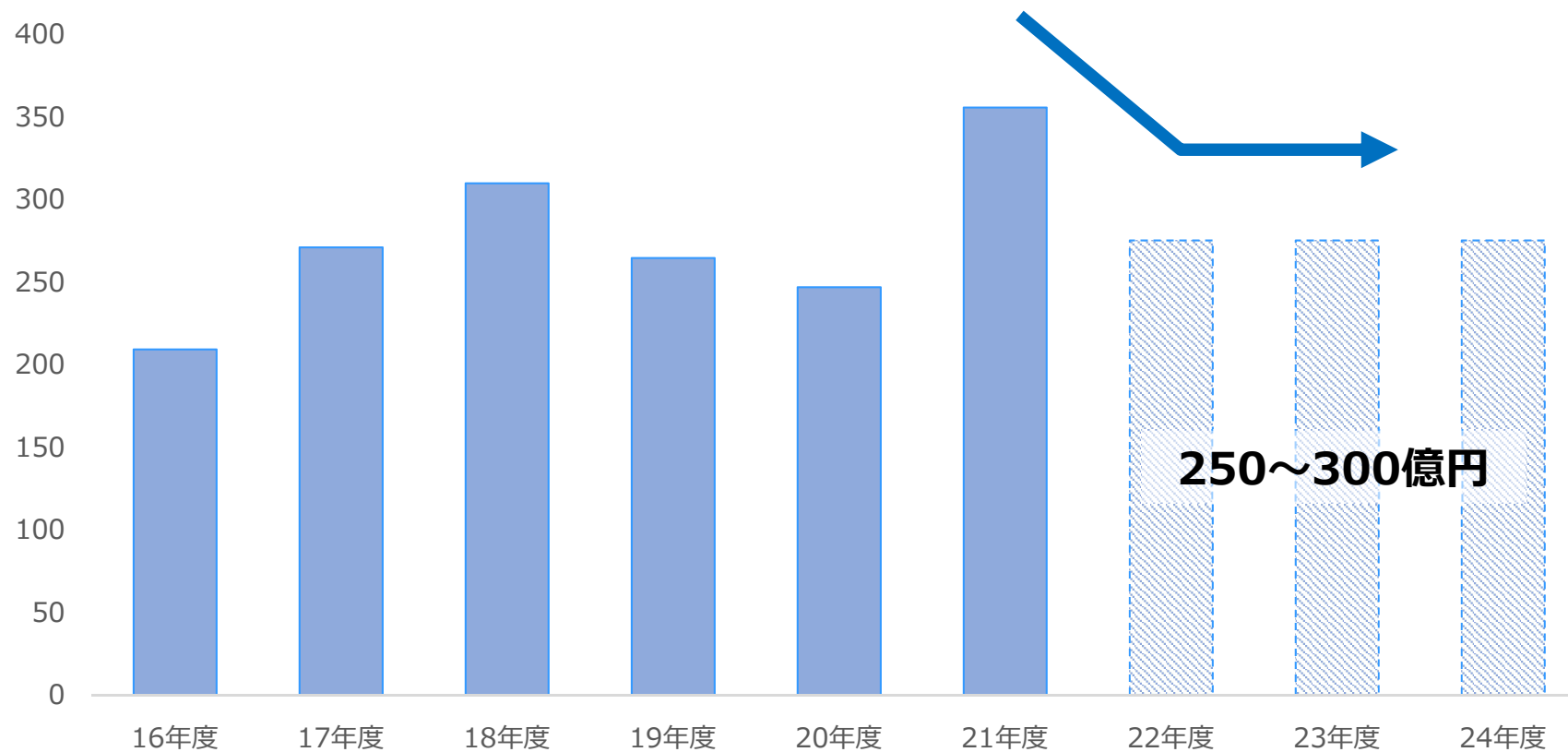


⇒ 生産性向上(配置人員適正化)、投資削減(余剰設備を次期PJTに転用)、新規受注のためのスペースを確保

「キャッシュフローベースの投資管理」

方策：プロジェクト単位での個別最適ではなく、フリーキャッシュフローの目標値から全体最適化を実施し平準化を図る

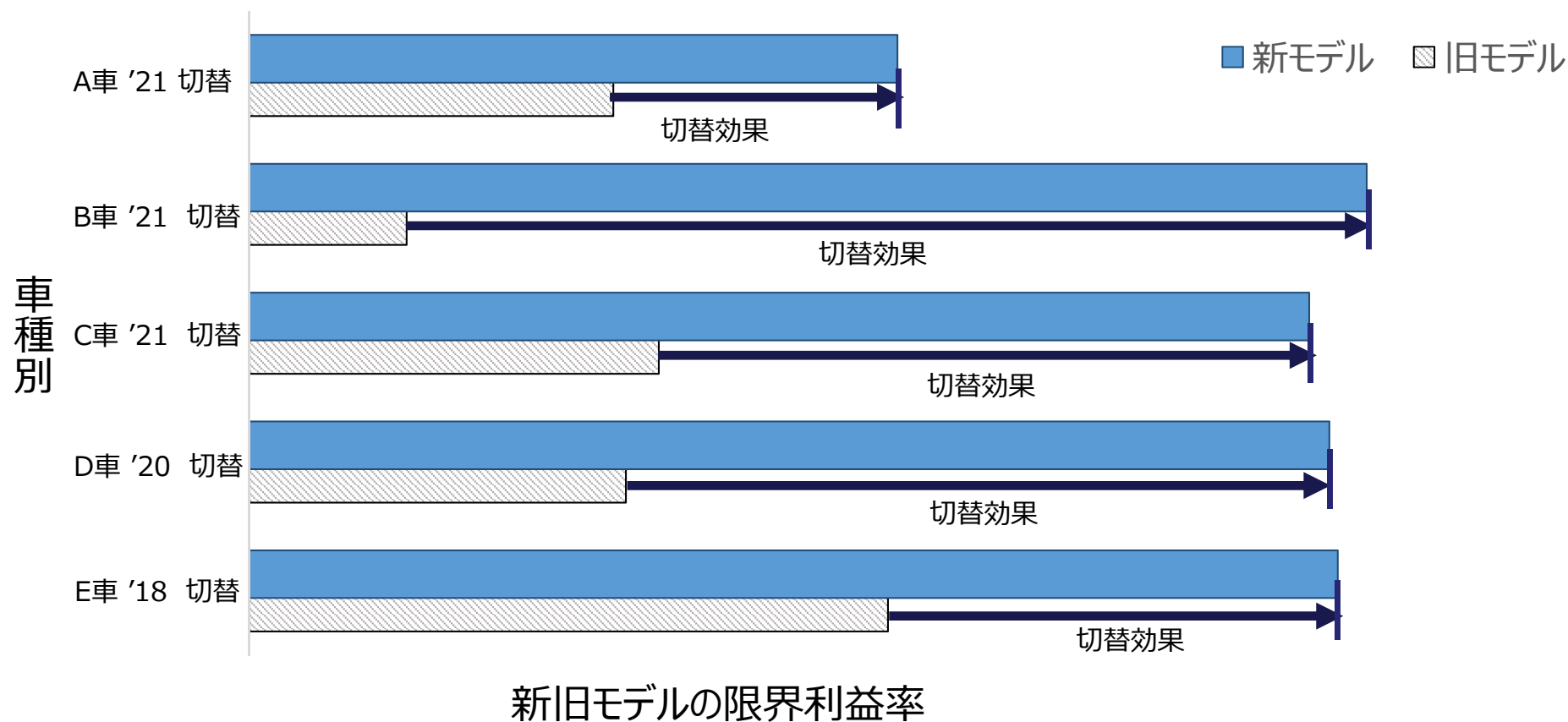
【2016～2024年度投資金額推移】



「原価企画の強化」

方策：開発初期段階から、設計、生技、製造一体となって高品質・低コスト製品を作り込む

【新旧モデルの限界利益率差】



- 3つの提供価値

「環境」 自然環境への負荷を低減する排気系部品

「安心」 人を危険から守り、安心できるボデー・内装部品

「豊かな生活」 生活品質を高める製品・サービス

アグリーフ、新規事業（社会ソリューション創造室）

- 多くのステークホルダーの皆様へ価値提供、
情報発信を増やしていきます

フタバに関するステークホルダー

社員
家族

お客様

仕入先

株主

投資家

地域
社会

エンド
ユーザー



フタバ産業株式会社

<https://www.futabasangyo.com/>

【注意事項】

本資料に記載される当社（連結子会社を含む）の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績予想等のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、一部の数値を億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。